

■青海川線立体交差事業

(表彰対象者：新潟県土木部都市計画課
新潟県糸魚川土木事務所)



事業のあらまし

この事業は、「開かずの踏切」と言われる踏切遮断による交通渋滞の解消と踏切事故を防止するため、JRとの立体交差を実現し、国道と直接タッチすることにより、重車両が住居地区に進入することを防止することとしたものである。

- ・延長 460m
- ・幅員 7m
- ・事業費 1,575百万円
- ・事業実施期間 昭和55年4月～平成元年3月

受賞の理由

国道8号線、JR北陸本線及び2級河川青海川にはさまれた狭隘な土地条件にある。このため関係機関の理解を得て河川敷内に橋脚を設け、ループ橋によりJRとの立体化を図ることにより、地元の多年の念願であった「開かずの踏切」の解消をするなど悪条件を克服して事業を実施したことが評価された。

